

# 農作業特報

黒 部 市  
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

コシヒカリの生育は近年と比較すると3日程度遅れていますが、葉齢を揃えて比較すると草丈や莖数は近年並みとなっています。

生育の遅れから、中干しが不十分で柔らかいほ場が見られますが、歩くと足跡が浅く残る程度まで、しっかり干し固めましょう。

◇コシヒカリの生育状況(6月22日現在:黒部市生育調査ほ平均)

	田植日数	草丈 (cm)	莖数 (本)		葉 齢	葉 色
			株 当 たり	一 畝 当 たり		
R3年	40日	42.9	22.7	455	9.7	4.3
近 年*	45日	51.3	26.9	533	10.8	4.3

※近年 (H23~R2平均)

## 1. 中干し後の水管理

中干しが終わった後は、幼穂形成期(7月11日頃)まで「間断かん水」を行い、根に水分と酸素を十分に補給し、稲体の活力維持に努めましょう。  
ため水は厳禁です。

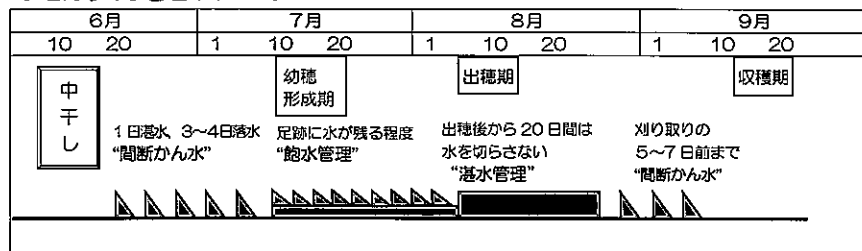
◆「間断かん水」の方法 ※湛水時はヒタヒタ水で。

乾きやすいほ場 ⇒ 1日湛水、2~3日落水。

乾きにくいほ場、葉色が濃いほ場 ⇒ 1日湛水、4~5日落水

(注) 肥料を散布する場合は、湛水後に肥料散布し、その後1日で落水せず自然減水してから「間断かん水」に移ってください。

コシヒカリの水管理のイメージ



## 2. てんたかく81の穂肥

(1) 一発基肥肥料栽培の場合

基本的には追肥は不要ですが、現在の葉色が4.0(砂壤土 4.2)より淡い場合は、直ちに追肥3号で7kg/10a程度の追肥を行って下さい。

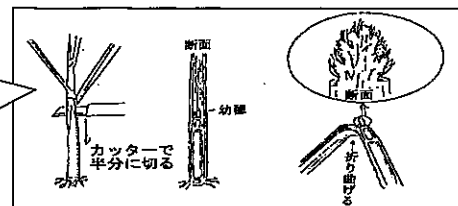
(2) 分施肥体系の場合

幼穂長	葉色	肥料名・量	時期	肥料名・量
1~2mm	4.2	追肥3号 10kg/10a	1回目施用から 10日後	L.P追肥38号 15kg/10a

※1回目の穂肥施用前に葉色が4.2以下となる場合は、3日程度早めに施用して下さい。

【幼穂確認の方法】

ほ場内で、平均的な生育の株の最も長い莖を根元から抜き取り、図の要領で確認して下さい。



## 3. 病虫害防除

(1) カメムシ対策

雑草地のカメムシ類が多発しています。カメムシ類の生息数を抑えるため、「すみか」となる畦畔や雑草地の草刈りを行いましょう。特にイネ科雑草は穂が出る前に除草を行いましょう。また、大麦跡田なども雑草が繁茂しないように適正に管理しましょう。

草刈り運動期間 7月1日(木)~10日(土)  
一斉草刈り日 7月3日(土)・4日(日)

\*草刈り時は防護服を着用し、刈払機などは安全な操作方法で使用するとともに、周辺の人や車などにも十分注意して下さい。  
\*作業前・作業中は水分補給をしっかりと行い、定期的に休憩をとりましょう。  
\*刈り取った草は、用水に流さないで下さい。

(2) 随時防除

畦畔等の雑草でイナゴ類の発生が多い場合は防除しましょう。

防除時期	農薬	散布量	注意点
6月下旬 ~7月上旬	トレボン粉剤DL	3~4kg/10a	畦畔際を重点に防除する。

主要なカメムシ類

